

TERMS &
CONDITIONS FOR
ACCOMMODATION
CONTRACTS

宿泊約款

利用規則

ご利用のお願い

ご予約のお願い

お部屋の案内

コートヤード・バイ・マリオット 新大阪ステーションでは、宿泊約款第10条に基づき、お客様が当ホテルに滞在中に快適かつ安全にお過ごし頂くことを目的に下記の利用規則を定めておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。万一この規則をお守りいただけなかった場合は、宿泊約款第7条により、宿泊のご継続及び館内諸施設のご利用をお断り申し上げることがございます。また規則に反した結果生じた事故については、当ホテルでは責任を負いかねますので、その旨ご了承くださいますようお願い申し上げます。

お部屋の案内

お部屋の案内

- 客室
 - 客室を宿泊以外の目的で使用されることは堅くお断り致します。
 - 客室及びロビー他ホテル施設内でホテルの許可なく営業行為、事務所、パーティなど宿泊以外の目的にご利用されることは堅くお断り致します。
 - ベッドの中など、火災の原因となりやすい場所での喫煙は禁止致します。
 - 客室内及び廊下での火災の原因となるような行為、暖房・炊事用などの熱を発生する器具やアイロン等の持ち込み及びご使用は禁止致します。

お部屋の案内

- 貴重品
 - ご滞在中の現金、貴重品の保管には、客室備え付けセーフティボックス、又はフロントにて備え付けの貸金庫をご利用ください。尚、ご利用はお客様のご滞在期間に限らせていただきます。万一紛失、盗難事故等が発生した場合、ホテルでは一切の責任を負いかねます。
 - ホテルの施設内にある鍵付のロッカー等を使用される場合には、必ず鍵をおかけください。

お部屋の案内

- 客室の鍵及び施錠
 - お部屋から外出なさる時は施錠を必ずご確認ください。
 - お客様が在室の時は、常にドアの「掛け金」をお掛けください。
 - ドアをノックされた時は、「掛け金」をかけたままドアをおあけください。ドアスコープがある場合にはドアスコープでご確認ください。

お部屋の案内

- 来訪者
 - ご訪問客に客室内の設備や家具等を利用させたりしないでください。
 - ご訪問客と午後10時以降の客室内でのご面会のご遠慮願います。

お部屋の案内

- お勘定
 - ご滞在中、フロント会計からの勘定書の提示がございましたら、その都度、お支払いください。
 - ご到着時に申込金を申し受けることがございます。また、ご滞在を延長される場合には、申込金を申し受けます。万一そのお支払いが期日までにない場合には、ご利用をお断りさせていただきます。
 - ご宿泊者以外の方から料金のお支払いを受けることになっているときは、定められた期日までにお支払いがなければ、ご宿泊者ご本人に直接お支払いをご請求申し上げます。
 - ご利用代金のお支払いは、通貨または当ホテルが事前に認めたクレジットカード等とさせていただきます。
 - 当ホテルのレストラン・バー・売店等のご利用代金をご署名によってご使用なさる場合は、必ず当該施設会計係員に客室の鍵、またはゲストカードをご提示ください。

お部屋の案内

お部屋の案内

お部屋の案内

6.当ホテル内では、他のお客様のご迷惑になるようなものの持ち込みあるいは、行為をお断り致しております。

- 動物、鳥類等（障害者補助犬を除く）
- 悪臭を発するもの
- 常識的な量や大きさをこえる物品
- 鉄砲や刀剣、麻薬、覚せい剤など法令で所持を禁じられているもの
- 発火又は引火しやすい火薬、揮発油等
- 賭博や風紀を乱すような行為
- 泥酔、声高、放歌、喧騒な行為、乱暴な行為、その他で他人に嫌悪感を与えたり、迷惑をおよぼす行為
- パジャマ・バスローブ・スリッパ等のままで客室より出る行為
- 他のお客様に広告物の配布や物品の販売をする行為
- ホテル外からの飲食物のお持込および外部からの注文をとる行為
- 廊下やロビーなどへの所持品の放置行為
- 未成年者のみのご宿泊で特に保護者の許可がない場合
- 泥酔者で自己または他人の生命、身体または財産に危害を及ぼすと認められる場合
- 病人、負傷者で適当な保護者の付き添いのいない方の宿泊の場合
- 館内外の諸施設、備品、その他の物品を損傷、汚染、あるいは紛失された場合には、相当額の弁償を申し受けます
- ホテル内の諸設備物品、消防用設備等を本来の目的以外に使用し、また他の場所への移動、変更や加工、外部への持ち出しはなさらないでください
- 他のお客様に不快感を与えたり、迷惑をおかけするような疾病をお持ちの方のホテル利用はお断りさせていただくことがあります
- ホテル内で撮影された写真等を営業上の目的で利用することは禁じます
- 緊急事態、あるいはやむを得ない事情が発生しない限り、バックヤード、機械室、屋上、非常階段等、お客様以外の施設に立ち入らないでください

お部屋の案内

- お忘れ物（落し物）
 - お忘れ物等遺失物の処置は、法令に基づいてお取り扱いさせていただきます。

お部屋の案内

お部屋の案内

- お預り物
 - お客様よりの荷物等の預りは、ご滞在の期間に限るものと致します。
 - 生鮮品のお預りは、原則としてお断り致します。

お部屋の案内

お部屋の案内

- 支配する国語
 - 本規則は日本語と英語で作成されますが、規則の両文の間に不一致または相違があるときは、日本語が優先するものとします。

お部屋の案内

お部屋の案内

お部屋の案内

Every guest is requested to observe and comply with the following Regulations established by Courtyard by Marriott Shin–Osaka Station to maintain the quality of the hotel and to ensure that Hotel guests have a pleasant and safe stay in accordance with Article 10 of the Terms and Conditions for Accommodation Contracts. If a guest does not comply with the House Regulations, Courtyard by Marriott Shin–Osaka Station may choose not to permit further use by the guest of the guest's Hotel room and other Hotel facilities pursuant to Section 1 of Article 7 of said Terms and Conditions. Courtyard by Marriott Shin–Osaka Station will not be liable to any guest or other person for any damage caused by his/her failure to comply with the House Regulations.

お部屋の案内

お部屋の案内

- GUEST ROOMS
 - Please refrain from using your room for purpose other than lodging.
 - Please do not use guest rooms for business activities or private parties, as offices or for any purposes other than accommodation use, without the consent of the Hotel.
 - Please refrain from smoking in places that may easily catch fire, especially in bed.
 - Please do not use and bring in inflammables for heating, cooking, or the like, irons, etc., in the guest room or the corridors without the consent of the Hotel.

お部屋の案内

お部屋の案内

- VALUABLES
 - Please deposit your cash and valuables in the safety box either in your room or at the front desk. Safety box use is limited to the period of your stay. The Hotel is not responsible for loss or theft of any valuables.
 - When you use a key-lockable locker in the Hotel, please make sure to lock it.

お部屋の案内

お部屋の案内

- GUEST ROOM KEYS AND LOCK
 - When leaving your room, please make sure the door is locked.
 - Please use the door latch whenever you are in your rooms.
 - When someone knocks on the door, first open it without unlatching. Please check through the peephole when available.

お部屋の案内

- VISITORS
 - Please do not let any visitor use the equipment and furniture in the guest room.
 - Please refrain from inviting outside visitors to your guest room after 10 p.m.

お部屋の案内

- PAYMENT
 - You may be requested to settle your account at some point during your stay. If so, please make payment at that time.
 - Please understand that a deposit is requested upon your arrival or extending your stay at the Hotel.
 - In circumstances where a party other than the staying guest is to make payment for charges incurred by the Guest and payment is not made by determined date, the Hotel shall request payment directly from the Guest.
 - Payment of charges incurred in during use of the Hotel shall be settled with cash, credit cards or a means accepted by the Hotel in place of such.
 - When signing for bills at the Hotel restaurants and bars, please show your room key or key card.

HOUSE REGULATIONS

お部屋の案内

お部屋の案内

お部屋の案内

6.PLEASE REFRAIN FROM SUCH ACTIVITY AS DESCRIBED BELOW THAT MAY CAUSE A NUISANCE TO OTHER GUESTS OF THE HOTEL.

- Bringing dogs, birds, other animals or pets.
- Bringing objects emitting a foul odor into the Hotel.
- Bringing objects of an unusually large size or in unusually large quantities into the Hotel.
- Bringing firearms, sword, drugs or other articles, the possession of which is prohibited by the law of Japan into the Hotel.
- Bringing explosives or inflammable substances into the Hotel.
- Gambling, behavior corrupting of public morals.
- Drinking heavily, making loud noises, singing, creating a disturbance or any other disgusting behavior.
- Leaving your guest room attired in a bathrobe, slippers, and the like.
- Distribution of advertising or publicity literature, sales of goods or other such activity within the Hotel.
- Bringing and ordering meals and drinks to be delivered from outside the Hotel.
- Placing any personal belongings in the lobby or hall way.
- Accommodations to minors without an appropriate attendant.
- Guest who behaves in a manner which may physically or mentally cause harm to other guests and property as well as his/her own self due to dementia or intoxication.
- A sick or injured person without an appropriate attendant.
- In case of breakage or loss to Courtyard by Marriott Shin–Osaka Station's facilities and equipment, Courtyard by Marriott Shin–Osaka Station's may claim damages.
- Please do not remove, alter any equipment or fixtures of the Hotel or use for purposes other than those intended.
- The Hotel shall refuse to accommodate people behaving unpleasantly toward other guests or who carry a disease which causes an annoyance to other guests.
- Guests are reminded that unauthorized publication for commercial purpose of photographs taken on premises of the Hotel is prohibited.
- Entering the area of Back of House, machine room, emergency exit except in the case of emergency.

お部屋の案内

- LOST AND FOUND
 - Lost property and items left at the Hotel will be handled in accordance with the law.

お部屋の案内

- UNCLAIMED ITEMS
 - Unclaimed items shall be held during your stay.
 - Fresh products shall not be taken in principle.

お部屋の案内

- GOVERNING LANGUAGE
 - These Provisions are written both in Japanese and in English. In the event of any inconsistency or difference between the two versions of these provisions, the Japanese version shall prevail in all respects.

コートヤード・バイ・マリオット 新大阪ステーション

宿泊約款

第1条〔適用範囲〕

- 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令等(法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ。)又は一般に確立された慣習によるものとします。
- 当ホテルが、法令等及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

第2条〔宿泊契約の申し込み〕

- 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
 - 宿泊者名
 - 宿泊日及び到着予定時刻
 - 宿泊料金(原則として別表第 1 の基本宿泊料による。)
 - その他当ホテルが必要と認める事項
- 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

第3条〔宿泊契約の成立等〕

- 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
- 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間(3日を超えるときは3日間)の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
- 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
- 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

第4条〔申込金の支払いを要しないこととする特約〕

- 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
- 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

第4条の2〔施設における感染防止対策への協力の求め〕

- 当ホテルは、宿泊しようとする者に対し、旅館業法(昭和23年法律第138号)第4条の2第1項の規定による協力を求めることができます。

第5条〔宿泊契約締結の拒否〕

- 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。ただし、本項は、当ホテルが旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。
 - 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
 - 満室により客室の余裕がないとき。
 - 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
 - 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。
 - 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団(以下「暴力団」という。)、同法第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
 - 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - 宿泊しようとする者が、旅館業法第4条の2第1項第2号に規定する特定感染症の患者等(以下「特定感染症の患者等」という。)であるとき。
 - 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき(宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(平成25年法律第65号。以下「障害者差別解消法」という。)第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。)
 - 宿泊しようとする者が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
 - 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
 - 旅館業法第5条第3号「その他都道府県が条例で定める事由」に基づき当該各都道府県が制定する「旅館業法施行条例」の規定する宿泊拒否事由に該当するとき。

第5条の2〔宿泊契約締結の拒否の説明〕

- 宿泊しようとする者は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めることができます。

第6条〔宿泊客の契約解除権〕

- 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
- 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。))は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
- 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後6時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することができます。

第7条〔当ホテルの契約解除権〕

- 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することができます。ただし、本項は、当ホテルが旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。
 - 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
 - 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
 - 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - 宿泊客が特定感染症の患者等であるとき。
 - 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき(宿泊客が障害者差別解消法第7条第2項又は第8条第2項に規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。)
 - 宿泊客が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
 - 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - 旅館業法第5条第3号「その他都道府県が条例で定める事由」に基づき当該各都道府県が制定する「旅館業法施行条例」の規定する宿泊拒否事由に該当するとき。
 - 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る。)に従わないとき。
 - 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

第7条の2〔宿泊契約解除の説明〕

- 宿泊客は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めることができます。

第8条〔宿泊の登録〕

- 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
 - 宿泊客の氏名、住所及び連絡先
 - 日本国内に住所を有しない外国人にあっては、国籍及び旅券番号
 - その他当ホテルが必要と認める事項
- 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを显示していただきます。

第9条〔客室の使用時間〕

- 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から翌朝正午までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
- 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
 - 超過3時間までは、客室料金の30%
 - 超過6時間までは、客室料金の50%
 - 超過6時間以上は、客室料金の全額

第10条〔利用規則の遵守〕

- 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

第11条〔営業時間〕

- 当ホテルの主な施設等の営業時間は備付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスデスクトリー等で御案内いたします。
- 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

第12条〔料金の支払い〕

- 宿泊者が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第 1 に掲げるところによります。
- 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
- 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

第13条〔当ホテルの責任〕

- 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
- 当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

第14条〔契約した客室の提供ができないときの取扱い〕

- 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。
- 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

第15条〔寄託物等の取扱い〕

- 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の明告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは15万円を限度としてその損害を賠償します。
- 宿泊客が、当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、15万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

第16条〔宿泊客の手荷物又は携帯品の保管〕

- 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。
- 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
- 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあっては前条第1項の規定に、前項の場合にあっては同条第2項の規定に準じるものとなります。

第17条〔駐車場の責任〕

- 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

第18条〔宿泊客の責任〕

- 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

第19条〔支配する国語〕

- 本約款は日本語と英語で作成されますが、約款の両文の間に不一致又は相違があるときは、日本文が優先するものとします。

〔別表第1〕

宿泊料金等の内訳（第2条第1項及び第11条第1項関係）

		内訳
宿泊客が支払うべき総額	宿泊料金	(1)基本宿泊料〔室料又は室料＋朝食等の飲食料〕(2)サービス料 [(1)×10%]
	追加料金	(3)追加飲食等 [(1)に含まれるものを除く](4)サービス料 [(3)×10%]
	税金	(5)消費税(6)宿泊税(大阪府)

- 備考
- 基本宿泊料はフロントに掲示する料金表によります。
 - 税法が改正された場合は、その改正された規定によるものとします。

〔別表第2〕

違約金（違約金（第6条第2項参照））

ご予約お取り消し日	個人	団体
	1日9部屋以下もしくはは14名まで	1日10部屋以上もしくはは15名以上
不泊	100%	100%
当日	100%	100%
前日	100%(18時以降)	契約書に基づく
3日前	－	契約書に基づく
7日前	－	契約書に基づく
20日前	－	契約書に基づく

*値は基本宿泊料に対する違約金の比率です。

*契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず1日分(初日)の違約金を收受します。特定日に関しましては、別途お取消料が発生することもございます。

COURTYARD BY MARRIOTT SHIN-OSAKA STATION

TERMS & CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

Article 1. (Scope of Application)

- Contracts for accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. Any particulars not provided herein shall be governed by laws and regulations ("laws and regulations," or those based on laws and regulations. The same shall apply hereinafter) and/or generally accepted practices.
- In the case when the Hotel has entered into a special contract with the Guest in so far as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions, notwithstanding the preceding Paragraph.

Article 2. (Application for Accommodation Contract)

- A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:
 - Name of the Guest(s).
 - Date of accommodation and estimated time of arrival.
 - Accommodation charges (based in principle on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No. 1).
 - Other particulars deemed necessary by the Hotel.
- If Guests request to extend their stay, during their stay, beyond the date in subparagraph (2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

Article 3. (Conclusion of Accommodation Contracts, etc.)

- A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply where it has been proved that the Hotel has not accepted the application.
- When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit set by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Hotel.
- The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charge to be paid by the Guest, secondly for cancellation charges under Article 6 and thirdly for reparations under Article 18 as applicable. The remainder, if any, shall be refunded at the time of payment for accommodation as stated in Article 12.
- If the Guest fails to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the period of Payment of the deposit is specified.

Article 4. (Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit)

- Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.
- In the case when the Hotel has not requested payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and/or has not specified the date of payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as though the Hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

Article 4-2. (Request for cooperation in infection control measures at facilities)

- The Hotel may request cooperation from the person who intends to stay at the hotel in accordance with the provisions of Article 4-2, Paragraph 1 of the Hotel Business Act (Act No. 138 of 1948).

Article 5. (Refusal of Accommodation Contracts)

- The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following circumstances. However, this paragraph does not mean that the Hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act.
 - When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions.
 - When the Hotel is fully booked and there is no vacancy.
 - When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself/herself in a manner that will violate laws or act against the public order or good morals in regard to his/her accommodation.
 - When the person who intends to stay at this hotel is deemed to fall under any of the following items (a) through (c).
 - Organized Crime Groups as defined in Article 2, Item 2 of the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Groups (Act No. 77 of 1991) (hereinafter referred to as "Organized Crime Groups"), members of organized crime groups as defined in Article 2, Item 6 of the same article (hereinafter referred to as "Members of Organized Crime Groups"), associate members of organized crime groups or persons related to organized crime groups, or other antisocial groups.
 - When the person is an organized crime group or a corporation or other organization whose business activities are controlled by an organized crime group or a member of an organized crime group.
 - A person who is a juridical person and one of its officers falls under the category of an organized crime group member.

- Organized Crime Groups as defined in Article 2, Item 2 of the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Groups (Act No. 77 of 1991) (hereinafter referred to as "Organized Crime Groups"), members of organized crime groups as defined in Article 2, Item 6 of the same article (hereinafter referred to as "Members of Organized Crime Groups"), associate members of organized crime groups or persons related to organized crime groups, or other antisocial groups.
 - When the person is an organized crime group or a corporation or other organization whose business activities are controlled by an organized crime group or a member of an organized crime group.
 - A person who is a juridical person and one of its officers falls under the category of an organized crime group member.
- When the person is behaving in such a manner as to be an annoyance to other guests.
 - When a person who intends to stay at this hotel is a patient, etc. of a specified infectious disease as defined in Article 4 -2, paragraph 1, item 2 of the Hotel Business Act (hereinafter referred to as "patient, etc. of specified infectious disease").
 - When a violent act of demand is committed or a burden exceeding a reasonable range is demanded with regard to accommodation (Excluding cases where the person seeking accommodation requests the removal of social barriers pursuant to the provisions of Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2 of the Act (Act No. 65 of 2013. Hereinafter referred to as the "Act on Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities") on Promotion of Elimination of Discrimination on the Basis of Disability).
 - When the person who intends to stay in the Hotel has repeatedly made a request to the Hotel as specified in Article 5 -6 of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act as a request whose burden is excessive in its implementation and which may seriously impede the provision of accommodation-related services to other guests.
 - When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, malfunction of facilities and/or other unavoidable causes.
 - When the case falls under the grounds for refusing accommodation as stipulated in the "Ordinance for Enforcement of the Ryokan Business Law" enacted by the relevant prefecture based on "other grounds stipulated by the prefecture by ordinance".

Article 5-2. (Explanation of refusal to conclude a contract of accommodation)

- The person who intends to stay may request the Hotel to explain the reasons for its refusal to enter into a contract of accommodation in accordance with the preceding article.

Article 6. (Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest)

- The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by notifying the Hotel.
- If the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No. 2. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of payment of cancellation charges in case of cancellation by the Guest.
- If the Guest does not appear by 6 p.m. of the accommodation date (without advance notice 2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified), the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

Article 7. (Right to Cancel Accommodation Contract by the Hotel)

- The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following circumstances. However, this paragraph does not mean that this hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act.
 - When the Guest is deemed liable for conduct and/or has conducted himself/herself in a manner that will violate laws or act against the public order and good morals in regard to his/her accommodation.
 - When it is recognized that the Guest falls under any of the following items (a) through (c).
 - When the Guest is a crime group, a member of a crime group, a quasi-constituent of a crime group, or a person related to a crime group, or any other antisocial group.
 - When the Guest is a juridical person or other organization whose business activities are controlled by a crime group or a member of a crime group.
 - When the Guest seeking accommodation is a corporation which any of directors are proven to be a member of an organized crime group.

- When the Guest is behaving in such a manner as to be an annoyance to other guests.
 - When the Guest is a patient, etc. of specified infectious disease.
 - When the Guest who intends to stay at the accommodation commits a violent demand act or asks for a burden exceeding a reasonable range with regard to the accommodation (except when the guest requests the removal of social barriers as provided in Article 7, paragraph 2 or Article 8, paragraph 2 of the Act on Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities).
 - When the Guest repeatedly makes a request to this hotel that is so burdensome in its implementation that it may seriously impede the provision of accommodation-related services to other guests, as specified in the Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act.
 - When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and/or other causes of force majeure.
 - When the case falls under the grounds for refusing accommodation as stipulated in the "Ordinance for Enforcement of the Ryokan Business Law" enacted by the relevant prefecture based on "other grounds stipulated by the prefecture by ordinance".
 - When the Guest does not observe prohibited actions such as smoking in bed, tampers with fire-fighting facilities and otherwise breaches Hotel Regulations stipulated by the Hotel (restricted to particulars deemed necessary in order to avoid causing fires).
- If the Hotel has canceled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not charge the Guest for any of the services during the contractual period he/she has not received.

Article 7-2. (Explanation of Cancellation of Accommodation Contract)

- In the event that the Hotel cancels the accommodation contract in accordance with the preceding article, the Guest may request an explanation of the reasons for such cancellation.

Article 8. (Registration)

- The Guest shall register the following particulars the Front Desk of the Hotel on the day of accommodation:
 - Name, address, and contact information of the Guest(s).
 - Nationality and passport number for foreigners who do not have a domicile in Japan.
 - Other particulars deemed necessary by the Hotel.
- In the case when the Guest intends to make payment of the charges in accordance with Article 12 by any means other than Japanese currency, such as traveler's checks, coupons, credit cards, etc., these credentials shall be shown in advance at the time of registration in accordance with the preceding paragraph.

Article 9. (Occupancy Hours of Guest Rooms)

- The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 3 p.m. on the day of arrival to 12 p.m. (noon) on the day of departure. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy the guest room all day, except for the days of arrival and departure.
- The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the guest room beyond the time prescribed in the same Paragraph, in this case, extra charges shall apply as follows.
 - Up to 3 hours: 30% of the room charge
 - Up to 6 extra hours: 50% of the room charge
 - Extra time in excess of 6 hours: 100% of the room charge

Article 10. (Observance of Hotel Regulations)

- The Guest shall observe the Hotel Regulations established by the Hotel. Hotel Regulations are posted within the premises of the Hotel.

Article 11. (Business Hours)

- The business hours of the Hotel facilities shall be notified in detail by brochures as provided, notices displayed in various places, the Service Directory in guest rooms and other means.
- The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable circumstances of the Hotel. In such cases, the Guest shall be informed by appropriate means.

Article 12. (Payment of Accommodation Charges)

- The explanation of accommodation charges, etc. that the Guest shall pay is as listed in the attached Table No. 1.
- Accommodation charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid at Front Desk at the time of the Guest's departure or upon request by the Hotel in Japanese currency. Other means acceptable to the Hotel are traveler's cheques, coupons and credit cards.
- Accommodation charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for him/her by the Hotel.

Article 13. (Liabilities of the Hotel)

- The Hotel shall compensate the Guest for damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, the same shall not apply in cases where such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable.
- The Hotel is covered by Hotel Liability Insurance to deal with unexpected fire and/or other disasters.

Article 14. (Handling when Unable to Provide Contracted Rooms)

- The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.
- When arrangement of other accommodation cannot be made, notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to reparations. However, when the Hotel cannot provide accommodation due to causes for which the Hotel is not liable, the Hotel will not compensate the Guest.

Article 15. (Handling of Deposited Articles)

- The Hotel shall compensate for the Guest for damages when loss, breakage, or other damage occurs to goods, cash, or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the case when such damage is caused by force majeure. However, for cash and valuables, when the Hotel has requested the Guest for an appraisal of the value and the Guest has failed to do so, the Hotel shall compensate the Guest up to a maximum of 150,000 yen.
- The Hotel shall compensate the Guest for damages when loss, breakage or other damage is caused, through intent or negligence on the part of the Hotel, to the goods, cash or valuables brought onto the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at the Front Desk. However, in the event that the type and value of the guest's property or cash and valuables have not been disclosed in advance, this hotel shall compensate for damages up to 150,000 yen, except in the case of intent or gross negligence on the part of the hotel.

Article 16. (Custody of Baggage and/or Belongings of Guest)

- When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before his/her arrival, the Hotel shall be liable to store it only in the case when such a request has been accepted from the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the Front Desk at the time of his/her check-in.
- When the baggage or belongings of the Guest are found after check -out and ownership of the article is confirmed, the Hotel shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no such instructions are given to the Hotel by the owner or when ownership is not confirmed, the hotel will keep the property for 7 days, including the day of discovery, after which it will be reported to the nearest police station.
- The Hotel's liability in regards to the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two paragraphs shall be in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the Preceding Article in the case of Paragraph 1, and with the provisions of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

Article 17. (Liability in Regard to Parking)

- The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited to the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for damage caused through intent or negligence on the part of the Hotel in regards to the management of the parking lot.

Article 18. (Liability of the Guest)

- The Guest shall compensate the Hotel for damage caused through intent or negligence on part of the Guest.

Article 19. (Governing Language)

- These Provisions are written both in Japanese and English. In the event of any inconsistency or difference between the two versions of these Provisions, the Japanese version shall prevail in all respects.

Table No. 1 Calculation Method for Accommodation Charges, etc.

		Contents
Total Amount to be paid by guests	Accommodation Charge	(1)Basic Accommodation Charge (Room Charge) (2)Service Charge((1) × 10%)
	Extra Charges	(3)Meals and Drinks and other Expenses (4)Service Charge((3) × 10%)
	Tax	(5)Consumption Tax (6)Accommodation Tax(Osaka)

Note : 1. Accommodation charges are based, in principle, on the basic accommodation charges posted at the reception desk.
2. The most recent revision to the taxation law governs these terms.

Table No. 2 Cancellation Charge

Date of cancellation of reservation	Individual	Group
	Up to 9 rooms or 14 persons per day	10 rooms or more, or 15 persons or more per day
No Show	100%	100%
Accommodation day	100%	100%
1Day before	100% after 6 p.m.	based on the agreement
3Days before	-	based on the agreement
7Days before	-	based on the agreement
20Days before	-	based on the agreement

* The percentage signifies the rate of cancellation charges to the Basic Accommodation Charges.
* When the number of days contracted is shortened, cancellation charge for the first day shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.
Cancellation fees may be charged for some special days specified by the Hotel.